

- 問1 使わなくなった服を、ごみとして捨てるのではなく、必要としている人に譲るような、形を変えずに繰り返し使う取り組みのことを何と言いますか。
- 問2 ごみを捨てるときに、スチール缶やペットボトルなどを種類ごとに分けて出す「分別（ぶんべつ）」をするのはなぜですか。
- 問3 石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料をもやして電気をつくる方法を何と言いますか。
- 問4 私たちがごみを減らすために、まず「リデュース（ごみそのものを減らす）」を意識することが大切なのはなぜですか。
- 問5 日本でいろいろな種類の発電方法が使い分けられているのは、なぜですか。
- 問6 リユースを進めることで、どのような良い効果がありますか。
- 問7 水の流れを利用して電気を作る方法を何と言いますか。
- 問8 清掃工場でごみを燃やす、一番の目的は何でしょうか。
- 問9 使い終わったものを、一度分解したり溶かしたりして「原料」に戻してから、新しい製品に作りかえることを何と言いますか。
- 問10 しゅう集車が家庭から集めたごみを、最終的に清掃工場へ運ぶのはなぜですか。
- 問11 日本で水力発電が昔からさかんに利用されてきた理由は、どのような自然環境があるからですか。
- 問12 原子力発電で、電気を作るための燃料として使われるものは何ですか。
- 問13 家庭から出されたごみや資源を回収して、清掃工場まで運ぶために使われる特別な車を何と言いますか。
- 問14 私たちが家庭で使う水は、川から直接流れてくるのではなく、必ず浄水場を通るようになっています。なぜ、わざわざ浄水場できれいにする必要があるのでしょうか。
- 問15 清掃工場で、ごみを燃やしたときに出る熱は、どのように利用されていますか。
- 問16 発電所でつくられた電気を、家庭や工場に届けるために電圧（電気の勢い）を下げる役割をしている場所はどこでしょう。
- 問17 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。
- 問18 新聞や雑誌などの紙類を正しく分別して出すと、何に生まれ変わることが多いのでしょうか。
- 問19 ある町では、何年もかけて住む人の数（人口）がふえ続けています。このとき、町の水の使用量はどのようになっていると考えられますか。
- 問20 清掃工場でごみを燃やすとき、空気中に有害な物質が広がらないようにするために、どのような工夫をしていますか。